



春日井ロータリークラブ
2014～2015年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンのフェロウシップで、 世界・地域に、何か良い事をしよう!

植物園 ニュートンのリンゴの木

会 長 : 加藤 久仁明 例 会 日 : 金曜日 12:30~13:30
副 会 長 : 蓮野 美廣 例 会 場 : ホテルプラザ勝川
副 会 長 : 山田 治 事 務 局 : 春日井市鳥居松町5-45
幹 事 : 近藤 太門 T E L : (0568) 81-8498
会報委員会 : 長谷川 英輝 F A X : (0568) 82-0265

E-mail : ksgl-rc@gaea.ocn.ne.jp



本日のプログラム

- | | |
|---------------|---------|
| ・点 鐘 | 和 田 了司君 |
| ・ ROTARY SONG | 加藤久仁明君 |
| ・ 今月の歌 | 「奉仕の理想」 |
| ・ ビジター紹介 | 「海」 |
| ・ 食事・歓談 | 加藤久仁明君 |
| ・ 委員会報告 | |
| ・ 祝 福 | |
| ・ 卓 話 | 風岡 保広君 |
| ・ 幹事報告 | 近藤 太門君 |
| ・ 点 鐘 | 加藤久仁明君 |

今月の歌

海
松原遠く 消ゆるところ
白帆の影は 浮かぶ
干網浜に 高くして
かもめは低く 波に飛ぶ
見よ昼の海 見よ昼の海

今月の祝福

会員誕生日

9日 社本 太郎君	9日 名畑 豊君
11日 屋嘉比良夫君	12日 伊藤 一裕君
18日 峠 テル子君	

夫人誕生日

11日 山田 治君・幸子さん
22日 成瀬 浩康君・由美さん

2014年8月22日(金)2196回(8月第3例会)

アテンダンス表彰

40ヶ年	貴田 永克君
〃	加藤 茂君
12ヶ年	加藤久仁明君
8ヶ年	蓮野 美廣君

先週の記録

会長挨拶

会長 加藤久仁明君

加藤令吉ガバナー補佐、来訪して頂き有り難う御座いました。来週よりお盆に入ります。私の加藤家のルーツをお話いたします。加藤家は、春日井に住みだして私の代で10代目になります。その前は瀬戸の水野の地域で瓦を焼く職人の家系だったそうです。戦争中、名古屋城が爆撃に遭い焼失した折、焼け落ちた瓦を調べたら、1枚1枚に水野の加藤、品野の加藤と名前が入っていたそうです。この瓦職人の一族が何故、この地に来たと言うのは、大泉寺町に退休寺と言う浄土宗の寺が有ります。この寺は、尾張徳川2代藩主が夏の避暑地として、定光寺に行った帰りに休憩するお寺(定光寺より名古屋城に退く休む寺)でした。このお寺の屋根を瓦葺にする為に、わが先祖が尾張徳川家の命令を受け、移り住んだそうです。大泉寺には、瓦を焼いた登り窯の遺跡も有ります。加藤令吉君は、瀬戸赤津の何代も続く陶芸家です。10代前は親戚関係だったかもしれません。また分区幹事の松本哲也君も瀬戸水野で長く続く家系です。松本君とも同郷と言う事で先祖は親戚だっと思えます。加藤ガバナー補佐と松本分区幹事と私とは、25年ほど前からの付き合いで、在った当時から何となく気が合い何かに付け3人が絡み現在まで続いているのは、御先祖様のお導きかもしれません。今日は、加藤令吉ガバナー補佐との卓

会員増強及び拡大月間

例会予定	8月29日(金)	9月5日(金)	9月12日(金)	9月19日(金)
	I DM 18時~ 河文	理事役員会 11:30 テーブルミーティング	卓話 自己紹介大橋省吾君	祝福 卓話

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : ksgl-rc@gaea.ocn.ne.jp

話と、例会後のクラブ協議会で、長時間大変お世話になります。宜しくお願ひ致します。

幹事報告 幹事 近藤 太門君

地区からの連絡

1. 「第 13 回ロータリー全国囲碁大会」10月 11 日 (土) 9時 30 分から
東京市ヶ谷の日本棋院会館で開催
2. 台湾の「日台ロータリー親善会議」より「台北国立故宮博物館宝物展」の開催
場所は東京国立博物館の平成館にて、9月 15 日まで
地区委員会からの連絡
地区内広報、雑誌委員長会議の開催時間
変更の連絡

15 : 00 ~ 開催でしたが、14 : 00 ~ に変更です。

春日井市の出席要請です。

「第 55 回春日井市菊花大会に係る賞」の「春日井ロータリー会長賞」の授与を 26 年 11 月 9 日 (日) 午前 11 時 ~ 場所は市役所 1 階市民ホール
出席者は加藤久仁明会長です。

※次週予告 次週 8 月 15 日はお盆にて (定款 6-1) 休会です

◎例会変更の案内

犬 山	8月26日(火) 8月30日(土)
RC	交流例会の為 名鉄犬山ホテル
名古屋守山	8月27日(水) 8月27日(水)
RC	夜間例会の為 未定

◎ビジター紹介 会長 加藤久仁明君

- 東尾張分区ガバナー補佐 加藤 令吉君
- 東尾張分区分区幹事 松本 哲也君
- 地区副幹事 馬場 將嘉君

出席報告 委員長 伊藤 純君

会員 57 名	欠席 14 名	出席率 93%
先々週の修正出席	欠席 2 名	出席率 97%

ニコボックス報告 委員長 古屋 義夫君

卓話

RI 第 2760 地区東尾張分区

ガバナー補佐 加藤 令吉君

ロータリー活動の原点は出席です。毎週一度の例会に出席して R.C のその日のスケジュールを過ごすだけではなく、その前後の時間にあらゆる内容について語り合ったり調整する時間が生まれるのです。それは R.C の成り立ちの際に基本であった一業種一会員といった厳格な会員選考の中に存在する価値観であったと思います。業界同士の打合せではなく、その会員の持つ職業におけるプライドと責任感の中で異業種と情報交換したり、親睦を通じて友情を育み高め合っていく事であると考えます。ですから「ロータリーを楽しく」という意味の裏側には単に娯楽をするという楽しさではなく、会員同士がお互いの人格を尊重したうえで、又、自らの職業に責任を持ち、豊かな人的交流を継続して行く事が基本であります。しかし昨今はメーキャップの期限が以前は 1 週間であったのに今は 2 週間です。「出席」を尊重してきた R.C 活動の幅が徐々に変わってきました。私が入会した頃はサインのメーキャップは最後の手段で「とにかく近隣の R.C あるいは出張先で探してその地域の R.C にメーキャップとして出席しなさい」という教育を受けてきました。各クラブにいくつも残っているバナーがその証しのひとつであります。私のクラブのメンバーでも海外との取引をしている会員、旅行が趣味でよく海外へ出掛ける会員が現地で交流してバナーを多く持ち返っています。ところが時代も大きく変わってこの頃は E クラブなる R.C が認められ、私達の現在の東尾張分区に加わって参りました。R.C の例会をパソコンのウェブ上で行うという、いわば現在の電脳文化の象徴ともいえるスタイルです。お聞きをする所によりますと、どこかの地区で E クラブのメンバーがガバナーになられたという実例もあるようです。我が東尾張分区でもその内にガバナー補佐が誕生する可能性が充分にあるという事です。今後はこの E クラブの皆さんとどのようにして交流して友

ロータリーは会員の自主性に任せる寄付とはいうものの、ニコボックス委員会で「誰々が新聞に載った」というようなニュースを紹介、周知することで、寄付を促進できるのではないかな。

○プログラム

例会における 30 分の会員サービスがプログラムであり、最も大事な委員会。委員長だけが苦勞するのではだめで、会員の協力や、東尾張 11 ロータリーの委員長同士の情報交換、劇団四季の件の様な親睦行事との接点などいろいろヒントがある。

○雑誌資料委員会

瀬戸 RC では、雑誌委員長が 5~6 分で「ロータリーの友」を要約して紹介。また、俳壇歌壇に近郊 RC の会員が投稿したものを紹介することもある。逆に瀬戸 RC 事業の記事を投稿し、何回かに 1 度は必ず掲載されている。無駄な雑誌ではないので、自分で目を通したら、対外的な目に触れるよう開業医であれば待合や、会社の従業員の目に触れるところへ置くことも大切。

○SAA 委員会

一番「偉い人」で「サーベル」をもって例会を監督する。SAA は何かと学ぶには、このクラブ計画書の文章は皆さんにとって非常に素晴らしい。SAA が機能することで、会長・幹事の考えが浸透する組織・枠組みができる。来年再来年と強い姿勢で SAA を続けて頂きたい。

○会場委員会

ホテルのスタッフの大きなミスがない限り進行に支障は発生しないと思うが、ロータリーの森などのホテル外での持ち出し例会でも、気品が保てるようしっかりと準備下さい。

○クラブ会報委員会

毎週の例会、活動の記録、予定を結んでいくのが役割。一番やってならない名前誤り等、失礼があった場合は、翌例会できちんと相手の前でお詫びすることが必要。

○広報・IT 委員会

CLP (クラブリーダーシッププラン) を言いだした以降、複合的になってきている。できれば複合委員会にした方が、組織の厚みが増すのでは。

○会員増強委員会

バスト会長だけあって、風岡委員長の話は説得力がある。曖昧な態度で、何でもいから数を増やすのは良くない。ただし会長の思いをしっかりと伝え、説得しながら健全に会員を増やすのは良いこと。新入会員にもしっかりとロータリーの教育が行き届くはず。期待しています。

○職業分類

○会員選考

○ロータリー情報

職業分類について、春日井 RC としてあり得ない業種はいったん閉鎖し、枝を切って幹を太くした方が

良い。それで未充填部門がはっきりとする。また他クラブの職業分類や、タウンページなどから新しい目で職業を拾い直してみると良い。これで必然的に会員選考も決まってくる。会員増強を含めて四位一体でとりくめば、退会の心配をする必要のない「良い会員」が増え、そこへロータリー情報委員会が掟を教え込む。この 4 つの塊を崩さないよう常に連絡調整をとっていただきたい。瀬戸 RC では最初 3 年間はニコボックスか親睦委員会に入り、会員のお世話をし、そして会員から覚えてもらう。

○職業奉仕

新入会員卓話で自らの仕事と成り立ちを如何に知らしめるかということが大切。そういう機会を企画してはいかがか。

○社会奉仕

万有引力の実験装置の勉強をしているとのことだが、その試行錯誤の姿、プロセスを示し記録するとも大切ではないか。結果だけならお金を出すだけと変わらない。

○環境保全委員会

ロータリーの森、ニュートンのリンゴの木等、自然について言及されているが、団体における環境保全活動を紹介、提案させていただく。空港 RC 例会では割り箸を一切つかわない。自分も「マイ箸」を持参している。漆には殺菌作用があるため洗浄する必要がない。たとえば何かの記念品にマイ箸を使うなどのアイデアがある。

○青少年奉仕活動委員会

春日井はガールスカウトをしっかりとやっている。さらに春日丘インターアクトクラブの学生とロータリーの求める青少年育成の対象者をたくさん持っておられて大変好ましい。

○国際奉仕委員会

あしなが事業は大変すばらしい。米山記念奨学生に繋がる活動である。

○米山記念奨学委員会

財団の長老の中でも、東アジア地域における国情が不安定な状況下で黙って奨学金を出し続けていいのかという声もあるのは事実。そして、アジア限定で優秀な学生が選ばれて、反日感情を表明する学生がいないというのも事実。一方で震災被災者のうち進学に向けた金銭的障壁のある子供を対象にすべきという考え方もある。瀬戸 RC はプライベートでも奨学生を呼び交流をもつようにして、心を通わせて国同士が反目し合うなかでも、個人レベルで分かり合えていると感じる。

○ロータリー財団

財団が偉いという考えを持つ人もいるが、ロータリーでの基本は各クラブの活動。財団の予算を使うには、数年前から進めないと当該年度では間に合わない。フィリピンの水洗トイレの事業のように、人間同士の愛として立派な活動にお金が使えようにし

ていただきたい。

<松本 哲也 分区副幹事コメント>

瑞穂RCは伏見のヒルトンで木曜日に例会、歓迎するのでお越しいただきたい。地区事業のワールド・フード・ふれあいフェスタへのご協力感謝。地区のロータリーデーを開催に際し春日井RCでも検討中と聞いており、重ねて協力に感謝。

<馬場 将嘉 地区副幹事コメント>

各ロータリーをまわり勉強させていただいている。3月22日(日)に瀬戸RCが担当してIMの開催を予定している。いろいろと模索している所ではあるが、多くの会員の方に参加いただくようよろしくお願ひしたい。

<ガバナー補佐総括>

順調に春日井RCが歴史を積み重ねていると実感。来年度、瀬戸RCから加藤陽一君がガバナーとなる。今ガバナーエレクトとしていろいろな会議に参加しているが、皆さまの友情で彼を支えて頂きたい。お願いします。



松本 哲也 分区副幹事



馬場 将嘉 地区副幹事



卓話 加藤 令吉ガバナー補佐



クラブ協議会 ガバナー補佐訪問